

議員 ハクビシン等による農産物への被害が近年多くなっている。本村の鳥獣による被害をどのように認識しているのか。ハクビシン等の鳥獣被害対策は、一軒だけで実施しても対策にならない。鳥獣保護法の点からも、丁寧な対応が重要である。農産物の被害がこれ以上深刻にならないようにするためにも、対策が必要な時期に入ったと考える。対策を求め。

経済環境部長 本年度の農産物被害は、トウモロコシ農家やぶどう生産農家などから被害情報を受けている。鳥獣保護法により、直ちに有害鳥獣の保獲を実施することはできないが、JA・農業委員会・農業者などと連携を密にして、詳細な情報収集に努め、来年度においては、講演



ハクビシン

会等の開催を通し、防護柵対策等の研究を図っていきたい。また、忌避剤の情報や一般家屋への侵入防止策などを含めた情報を周知したいと考える。



問 ハクビシン等の鳥獣被害対策を求め
講演会を開催し防護柵等の対策の研究を図る

公明党 岡崎 悟 議員

議員 複雑多様化する時代の中、環境価値を高める土地利用の在り方は、**経済環境部長** 農家が継続的に営農できるような役場全体でプロジェクトを考える。農業が収入も含め安定的にできる魅力ある土地をつくっていく。環境面からは生物多様性地域戦略会議で地域がどうなっているか調べて検討していく。

建設水道部長 良好な田園環境の維持と魅力ある都市環境の形成を図るため、村の将来に向けてまちづくり検討委員会を活用、関係部署と調整を図り、課題に取り組む。

副村長 村の責任としてきちんと青写真を示し、住民と協働で進める組織を作りながら、庁内組織も一本化する必要がある。私のほうで機能させ情報を共有化し、各部課長が自



落花生畑

議員 複雑多様化する時代の中、環境価値を高める土地利用の在り方は、**議員** 土地利用は将来の方向性を考え、安心して住みよい都市空間を創造し、村の潜在能力、地域ポテンシャルを最大限に引き出すべきである。

分の問題と考え、課題を解決するよう進めたい。

議員 土地利用は将来の方向性を考え、安心して住みよい都市空間を創造し、村の潜在能力、地域ポテンシャルを最大限に引き出すべきである。



問 第五次総合計画の中での土地利用の在り方は
重要総合プロジェクトに位置付けて実施する

豊創会 村上 孝 議員